

トピック まなづるの海

真鶴の海にジンベイザメがやってきた!



岩漁協の定置網に入ったジンベイザメ (2020年6月23日撮影、岩漁協提供)

6月中旬、岩漁協の定置網にジンベイザメが入りました。ジンベイザメは主に熱帯から亜熱帯の海に生息していますが、南から流れる黒潮に乗ってやってくることもあるようで、稀に相模湾でも目撃されます。岩漁協の定置網でもジンベイザメが入ったのは、今回が初めてではありません。しかし、今回は10年ほど前ということなので、かなりめずらしい出来事です。



ジンベイザメの全身(伊豆半島で捕獲後、下田市の水族館で保護されていた個体。2014年夏)

サメというと他の魚を捕らえて食べる獰猛なイメージがありますが、ジンベイザメの性格は穏やかで、動物プランクトンを主食としています。動物プランクトンはイワシなどの小魚の食物でもあることから、ジンベイザメが出るときは、餌を求めて集まってきたイワシのほか、イワシを食べるカツオやマグロも大漁になることが多いようです。そのため、地域によっては漁業の神様として、漁師さんたちの信仰の対象となっています。

今回、ジンベイザメが入った日の岩漁協の定置網には、イワシが入っていたようですが、残念ながら大漁というほどの水揚げにはなりません。しかし、最近では他にも、ウミガメやカジキ、さらに、こちらめずらしいユウレイイカが入ったとのことでした。真鶴の漁業の中心を担う定置網は、時折、珍客が訪れ、多様な海の生物たちに出会うことのできる貴重な場でもあります。

真鶴の海況

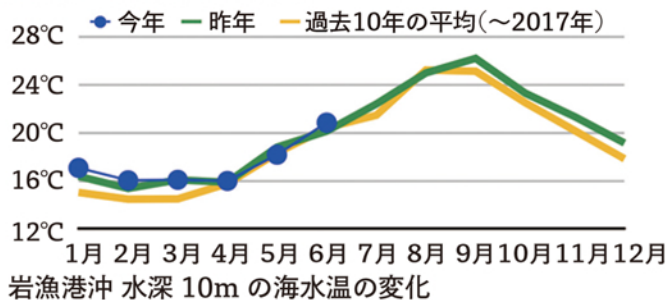
水温は例年並み、プランクトンも増殖

6月の真鶴沖の海水温は、5月より2.7℃上昇し、20.9℃となりました。6月の海水温としては例年並みの値です。海水温は昨年9月から今年の3月まで、例年よりも高い状態が続いていましたが、4月からは、ほぼ例年通りの状態が続いています。

真鶴沖のプランクトンは3月から種類も量も増えることがわかっています。今年は、5月に海の月報でもご紹介した「白潮」の影響で、通常見られるプランクトンが確認できない時期もありましたが、

いまはこの時期らしいプランクトンが多くなってきました。これからの夏、真鶴の海は緑がかった青色に見えることがあります。これは、植物プランクトンが海中に多くいるためです。植物プランクトンは陸上の草木と同様に、太陽の光を浴びて光合成を行い、栄養を作り、増殖します。そして、豊富な植物プランクトンは動物プランクトンの食物となり、動物プランクトンは魚やその他の動物の食物となって海の生態系を支えます。真鶴の夏の海のグリーンは、生物豊かな海の色といえます。

(情報提供: 横浜国大 臨海環境センター)



まなづるの漁獲情報

少ない水揚げ、6月になっても戻らず



ゴマサバ

盛漁期にも関わらず、4月の終わりから不漁が続いていましたが、残念なことに6月に入っても水揚げ量はなかなか回復していません。例年なら、6月から7月にかけては、サバやシイラ、トビウオなどが多く獲れ、鮮魚店に並ぶ時期ですが、今年は魚が少ないため真鶴漁協の直売所も、しばらくお休みとなっていました。

今回は、6月の末ようやく揚がったゴマサバをご紹介します。ゴマサバは、マサバとよく似ていますが、腹側にも黒い斑点がついているかどうかが見分けるポイントです。もともとは暖かい海に生息していますが、黒潮に乗って、相模湾にもやってきます。夏の海水温が高い時期に多く水揚げされ、これから脂ものつてきて旬を迎えます。サバにはアニサキスという寄生虫が棲むことが多いので、生食は注意が必要です。今回は、竜田揚げにして美味しくいただきました。< 情報提供: 真鶴町漁協 >

町立遠藤貝類博物館 7月中旬～8月のイベントスケジュール

- 7月19日(日) 海のミュージアム「磯の生物観察会/海の自然実感教室」
三ツ石海岸・町立遠藤貝類博物館【有料、要予約】
 - 7月25日(土) 海のミュージアム「磯の生物観察会」
三ツ石海岸・町立遠藤貝類博物館【有料、要予約】
 - 8月2日(日) 海のミュージアム「磯の生物観察会/海の自然実感教室」
三ツ石海岸・町立遠藤貝類博物館【有料、要予約】
 - 8月8日(土) 海のミュージアム「磯の生物観察会」
三ツ石海岸・町立遠藤貝類博物館【有料、要予約】
 - 8月19日(水) 海のミュージアム「磯の生物観察会/海の自然実感教室」
三ツ石海岸・町立遠藤貝類博物館【有料、要予約】
 - 8月22日(土) 海のミュージアム「磯の生物観察会」
三ツ石海岸・町立遠藤貝類博物館【有料、要予約】
- 【開催延長～8/26迄】写真展「知られざる 真鶴の海 2020」
町立遠藤貝類博物館、【要入館料、真鶴・湯河原町民無料】
※各イベントの詳細は、町立遠藤貝類博物館 HP または各ちらしをご覧ください。

まなづる 海の月報は、町立遠藤貝類博物館 HP からダウンロードができます。プリントしていただいての掲示・配布歓迎です。